

令和7年度 第1回

学友会 連絡協議会

日時:令和7年7月9日(水)17:30～

場所:1号館 14階 第6会議室

亜細亜学園 学友会

目次

1. 令和7年度 学生総会報告	2
学生総会概要	2
学生総会 学生の意見・アンケート結果	3
2. 学友会活動報告	12
3. 今後の活動について	43

1. 令和7年度 学生総会報告

学生総会概要

期間：令和7年5月19日（月）～31日（土）

学生総会出席者数：1825名

開催方式：オンライン（学友会Webページ上）

令和7年度学生総会は、全学友会員の4分の1以上の出席を以て成立し、出席会員の過半数の承認を以て可決されました。

議案書の内容概要：

一 令和六年度活動報告及び決算報告

二 令和六年度監査報告

三 令和七年度学友会活動方針

四 令和七年度予算案

五 各会則の改正

- ✓ 学生総会オンライン開催を明記
- ✓ 会計監査委員会の構成人数の変更
- ✓ 研修費のセミナーハウスにおける規定を削除

六 学友会制度紹介

学生総会出席者データ：

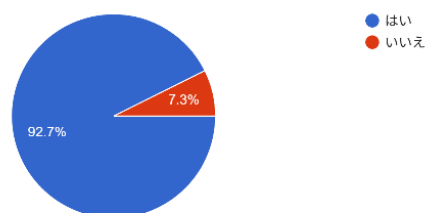
	経営			経済	法	国関		都市	合計
	経営	ホスピ	データ	経済	法	国関	多文化	都市	
4年	81	27		39	74	26	26	30	303
3年	115	40	28	64	85	25	25	45	427
2年	126	50	25	70	110	30	35	25	471
1年	117	73	32	121	132	53	41	(社会) 55	624
合計	439	190	85	294	401	134	127	155	1825

学生総会 学生の意見・アンケート結果

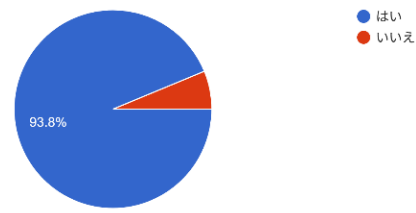
【大学主催の説明会について】

新入生

➤ あなたは入学式に行われた学部ガイダンスに出席されましたか
626 件の回答



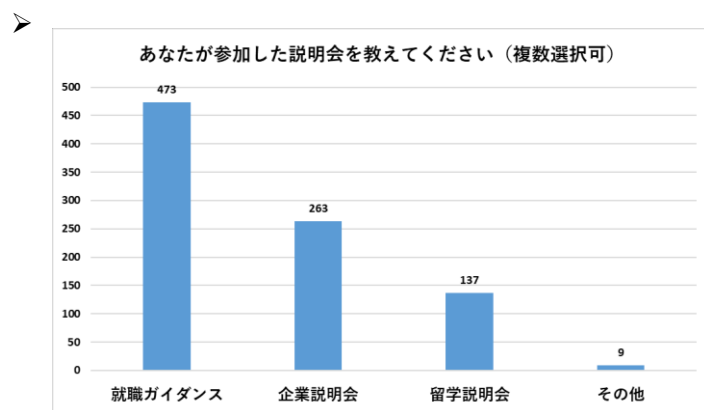
学部ガイダンスに対して満足していますか
626 件の回答



➤ 学部ガイダンス（出会いの広場合む）で改善してほしい点

- ・ パソコンの使い方など詳しく教えてもらえなかった。
- ・ 多くの説明を一度に大量にしていたということもあって、どうしてもわかりにくいと感じる点が多かった。
- ・ 日数が短かった気がするのと、他学部との交流も図っていただきたい。また、聞くところによると2学年以降はあのような会は無いの事だったので、あったら嬉しい

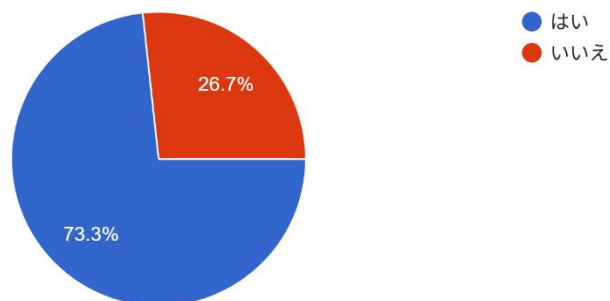
2～4年生



その他

- ・ 奨学金説明会
- ・ 公務員ガイダンス
- ・ キャリアガイダンス
- ・ 学校推薦説明会
- ・ 海外活動補助説明会

- 参加した説明会に対して満足していますか
1,201 件の回答



➤ 改善してほしい点、開催してほしい説明会の意見

就職活動関連

- ・ 様々な業界の企業説明会を増やして欲しい
- ・ (マイナビ)アプリの押し付けがしつこい
- ・ 2年生夏からインターンシップ説明会をして欲しい
- ・ 公務員のインターンシップ説明会を開いて欲しい
- ・ もっと大手の企業が来て欲しい
- ・ 土日にも企業等の説明会を開催して欲しい
- ・ 企業説明会をもっと大々的に開催して欲しい

その他

- ・ アーカイブを残して欲しい
- ・ 説明が長い、同じ話を繰り返している
- ・ 無理に交流を深めさせないで欲しい
- ・ 曜日が合わない
- ・ 授業と被る
- ・ 大学独自の奨学金や成績優秀者への奨学金について、詳細に説明される機会が欲しい
- ・ もっと人数が参加できるようにして欲しい
- ・ オンライン参加がしたい

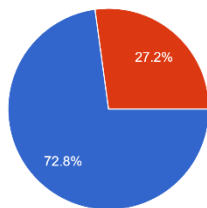
【授業について】

➤ 現在の履修登録に対して満足していますか

1 年生

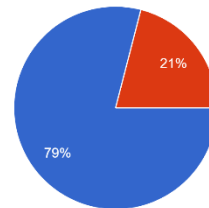
2 ～ 4 年生

現在の履修登録に対して満足していますか
626 件の回答



● はい
● いいえ

現在の履修登録に満足していますか
1,201 件の回答



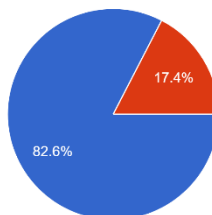
● はい
● いいえ

➤ 現在の授業に対して満足していますか

1 年生

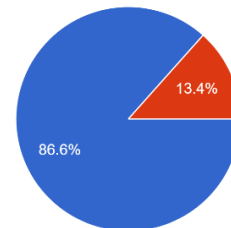
2 ～ 4 年生

現在の授業に対して満足していますか
626 件の回答



● はい
● いいえ

現在の授業に対して満足していますか
1,201 件の回答



● はい
● いいえ

➤ 改善してほしい点

1 年生

履修・抽選について

- ・ 抽選が外れること多すぎる 12
- ・ 土曜授業を勝手に履修されるのをやめて欲しい 6
- ・ 必修が全部 1 限、2 限にある 4
- ・ 履修数を増やしたい 4
- ・ 抽選の制度をやめてほしい 3
- ・ 履修登録が直感的に分かりにくい 3
- ・ 再履修できる期間を延ばして欲しい 2
- ・ 履修を取り消した後でも、新しく履修できるようにして欲しい 2
- ・ もう少し、分野別(必修、一般教養)の履修がどれくらい必要なかをわかるようにしてほしい
- ・ 日によって取れる授業の偏りがすごいのもっと満遍なくしてほしい
- ・ 履修で前期、後期で分かれての履修上限の撤廃をしてほしい。
- ・ 授業の様子を見てから決めたいので、一定期間体験授業の期間を設けていただきたい

講義について、その他

- ・ 105 分ではなく 90 分にして欲しい 3
- ・ フレマンは 105 分にして授業回数を減らしてほしい 2
- ・ 希望の授業を必修と被らない形にして欲しい 2
- ・ 英語の授業が多すぎる 2
- ・ シラバスにもっと詳しくテストの詳細(持ち込み可)などの要項を書いて欲しい
- ・ 言語授業で土曜授業がある可能性がある場合は事前にガイダンスで言って欲しい。

2～4 年生

履修・抽選について

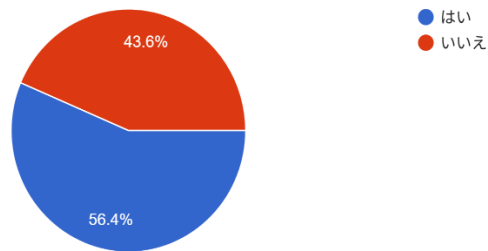
- ・ 4 年生でも抽選によって受けたい授業が外れてしまったので、機械抽選での履修を違う形にしてほしい。 36
- ・ 履修登録の上限を無くすか緩和して欲しい 9
- ・ 2 回抽選が外れた時の救済処置が欲しい 8
- ・ 教室が狭い授業があるので、履修している人数に応じて大きくしてほしい 7
- ・ 抽選は成績上位者から順に優先に取れる仕組みにして欲しい 5
- ・ 抽選枠の増加またはオンデマンドの併用 5
- ・ 学部ごとに特化した内容の授業を増やして欲しい 4
- ・ 履修登録登録の際の抽選機能で落選が重なり履修を組み直す際に当選した科目の取り消しをして違う科目を登録をできるようにしてほしい 3
- ・ 履修確定が遅い、抽選システムによる履修計画の崩れ 2
- ・ 履修取り消し期間で授業を取り消すだけでなく、新しく追加できるようにもしてほしい 2
- ・ 他学科の科目ももっと履修できると良い 2
- ・ 履修試用期間がほしい 2
- ・ 履修登録の期間に余裕(長い期間)を設けてほしい。 2
- ・ ゼミ先生の授業は取れるようにしてほしい
- ・ 再登録期間を 1 週間ほしいです。

講義について、その他

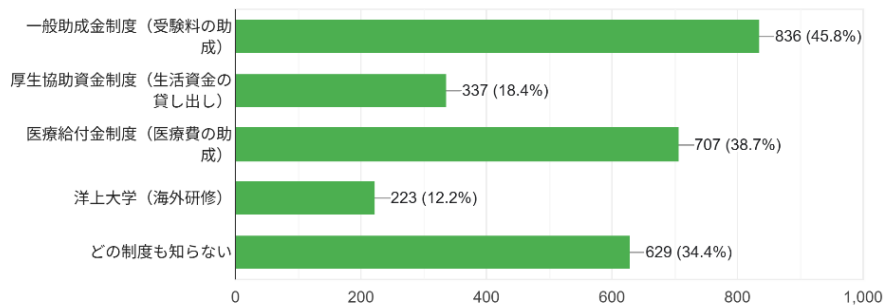
- ・ 必修の時間割がすでに決定されているのが不満 10
- ・ シラバスと内容が思っていたのと違うということが何度かあること 7
- ・ 教授が厳しい 7
- ・ 生徒の声をよく聞き、良い先生と悪い先生をしっかりと判断してもらいたい 5
- ・ 授業への集中力、必要単位取得のしやすさの面から 90 分授業への変更を検討してほしい。 4
- ・ 必修というもので先生によって難易度が変わるのに成績は一律で決まるのは不公平じゃないかと思う。 4
- ・ 全講義出席をとり、真面目に授業を受けている人が評価される体制になって欲しい 3
- ・ 教科書を強要されてしまうと金銭的にも少し負担なので、出来ればレジュメなどで済むならそうしてほしい 3
- ・ 4 限終わりから 5 限開始までの休み時間も 15 分にして欲しいです。10 分での移動はなかなか大変
- ・ 外部学習を増やして欲しい
- ・ 授業時間が長いのに昼休みがとても短い
- ・ もっとディスカッションなど飽きないアクティビティが欲しい

【学友会について】

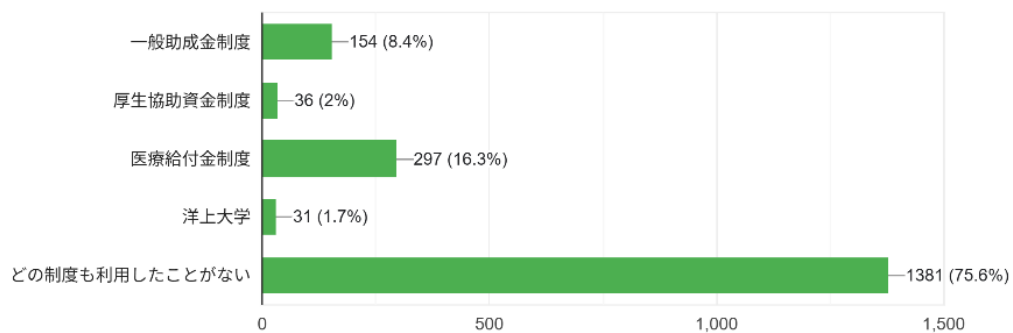
- 現在学友会団体（学友会、文連、體育會、届出）に所属していますか？
1,827 件の回答

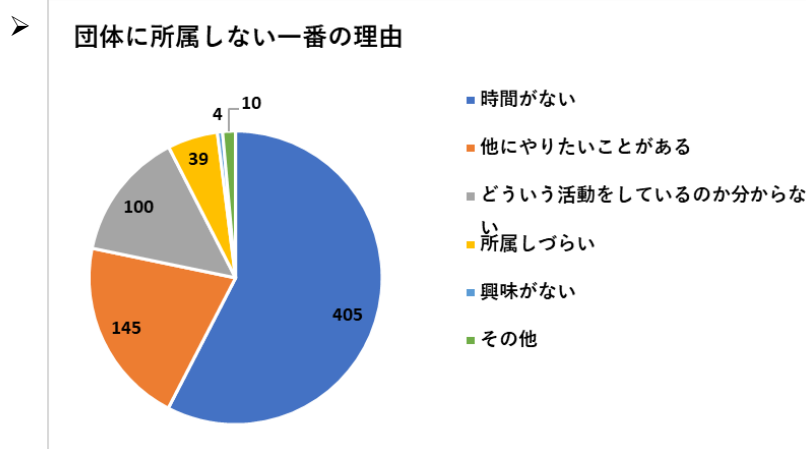
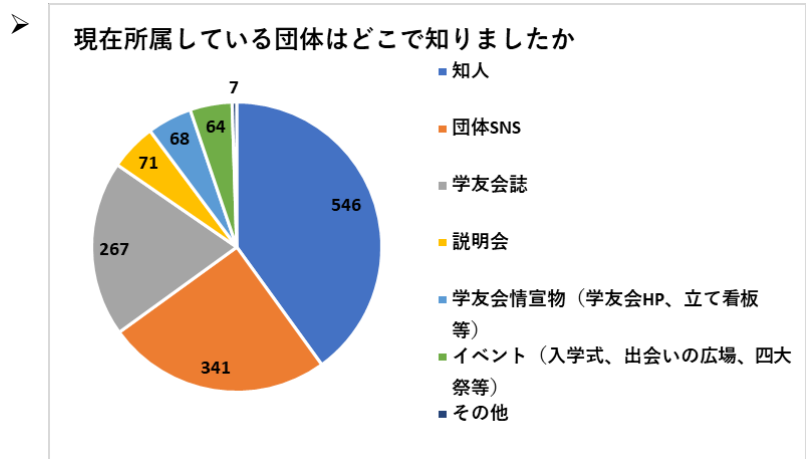


- あなたは学友会で運営している制度のうち、どの制度を知っていますか。（複数選択可能）
1,827 件の回答



- あなたは学友会で運営している制度のうち、どの制度を利用したことがありますか。（複数選択可能）
1,827 件の回答



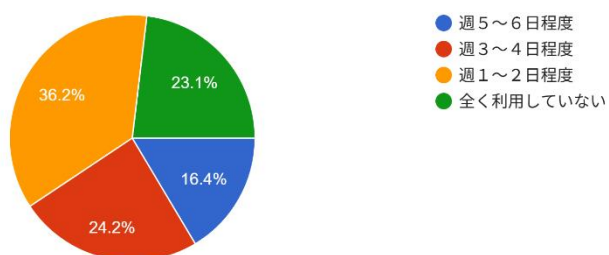


その他

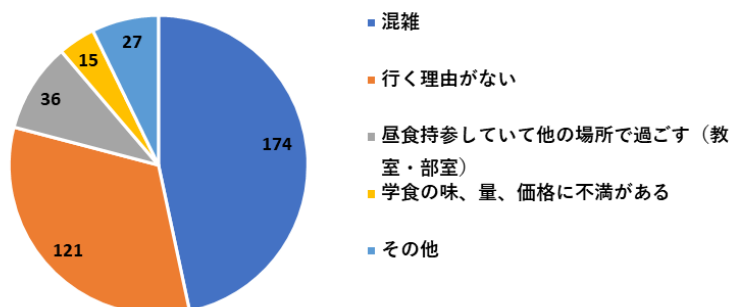
- ・ 入りたい団体が無い
- ・ 部活に所属している
(学友会団体だと認識していない)

【学内施設利用について】

- 本年度、ASIA PLAZAをどの程度利用しますか
1,827 件の回答



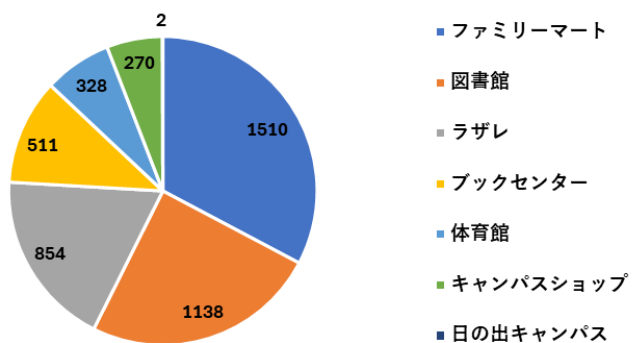
ASIA PLAZAを利用しない理由



その他理由

- ・支払方法が少ない
- ・利用者のマナーが悪い

亜細亜大学で利用した施設、設備

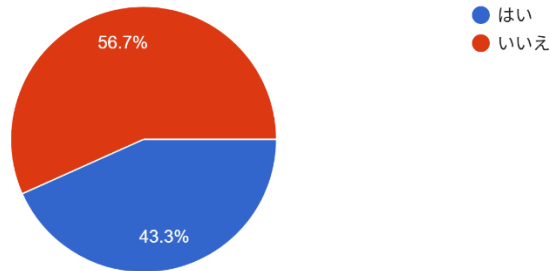


➤ **大学施設・設備についての意見や要望**

- ・ アジブラの席数の増加・増築 13
- ・ アジブラの席取りの制限 7
- ・ アジブラが狭い 4
- ・ 昼休み時のファミマとラザレが並びすぎ 3
- ・ 体育館・武道場にエアコンをつけて欲しい 3
- ・ 221号室から223号室の部分のトイレを改修してほしい 2
- ・ 給湯器をアジブラとファミマ以外の各号館に設置して欲しい 2
- ・ アジブラ内のファミマの営業時間を伸ばして欲しい 2
- ・ アジブラ以外の場所でお弁当を販売があると嬉しい 2
- ・ 喫煙所のマナーが悪い 2
- ・ 学食を安価にしてください 2
- ・ 閉館時間が早い22時30分までにしてほしい
- ・ アジブラにpaypayを導入して欲しい
- ・ 給水スポットが増えると嬉しい
- ・ Wi-Fiが弱い
- ・ 自転車の空気入れを設置して欲しい
- ・ オンライン授業やオンライン面接が出来る場所が欲しい
- ・ ロッカーが欲しい

【留学について】

- あなたは留学したいと思いますか
1,827 件の回答



➤ 留学についての意見・要望

- ・ 留学の期間が半年だと長い
- ・ 留学費用の補助や免除をして欲しい 5
- ・ 留学費用が高い 5
- ・ AUGP でも奨学金が欲しい
- ・ 留学を後押ししてくれる制度や告知が欲しい 4
- ・ 留学出来る国や種類を増やしてほしい 3
- ・ jasso の奨学金を帰国後にもらいたい
- ・ 短期留学は留学費用を安くして欲しい
- ・ 金銭面の説明を細かくして欲しい
- ・ 交換留学の枠を多めに設定して欲しい
- ・ 国ごとに留学期間が異なるのがおかしい

➤ その他、学友会や大学への意見要望

- ・ 亜大ポータルが見つらい 3
- ・ 医療費を 10 円未満でも切り捨てないで欲しい
- ・ モラルの無い学生に対して厳罰な対応すべき
- ・ 食堂の食事スペースを拡大して欲しい
- ・ 授業開始時刻と終了時刻をポータルに掲載して欲しい
- ・ アルバイトの紹介の種類も増やしてほしい
- ・ トレーニングルームの設備をもう少し見直して欲しい"
- ・ 急激な予算削減をするのではなく、余裕を持って活動出来る予算の組み方を考えて欲しい
- ・ 資格取得報償金制度を簡略化して欲しい

2. 学友会活動報告

- ・ 中央執行委員長：川島恵美
- ・ 学内副委員長・届出本部：加藤汐音
- ・ 学外副委員長・卒業アルバム委員会：二本柳蒼太
- ・ 中央事務局：原睦貴
- ・ 財務局：内藤諒真
- ・ 国際文化局：砂田海俊
- ・ 広報局：菅野真央
- ・ 福利厚生局協助会局：木下美優
- ・ アジア祭実行委員会：小川圭太
- ・ 体育祭実行委員会：河津日那子
- ・ 音響技術委員会：荒幡光汰
- ・ 新入生研修委員会：吉澤敦博
- ・ 新聞委員会：鶴巻拓人
- ・ 県人会連合会：大澤真陽
- ・ 学術文化連合会執行委員会：三浦楓華
- ・ 體育會本部：松尾伶武

中央執行委員長 前期活動報告

中央執行委員会 委員長
川島恵美

<月別活動一覧>

- 3月 令和6年度卒業式
- 4月 令和7年度入学式
- 5月 学生総会
- 7月 中央執行委員会企画

<活動報告詳細>

(1)令和6年度卒業式（3月15日）

令和6年度卒業式では、卒業生の最後の思い出となるようなフォトスポットと写真展示を体育館に設置し、当日の運営を行った。今回は昨年度に続き株式会社 SHIBUYA109 エンタテイメント様にご協力をいただき、フォトスポットを設置した。また、今年度はフォトスポットだけでなく、亜細亜大学での思い出を振り返ることができる場所として、アジア祭や体育会団体など、学友会活動の写真の展示やメッセージボードなどを設置した。

当日の来場者は約 800 人と昨年度を大幅に超え、多くの卒業生や保護者の皆様に提供することができた。

〈所感・反省点〉

昨年度と異なり卒業式が一部制での開催により混雑することが予想されたため、動線の配置や、思い出を振り返ることをコンセプトにした春夏秋冬のデザインなど、様々な工夫を加え、多くの方に来場していただくことができた。

卒業生全員に感謝を伝えるための企画だが、展示している写真が4大祭や学友会活動の写真に偏っていたことや、情宣が行き届いていなかったことから、学友会団体に所属している学友の来場の割合が多かった。団体の所属に関わらず、卒業生全員に届けるための内容の工夫が必要である。



(2)令和 7 年度入学式（4 月 3 日）

本年度入学式では、昨年同様 5 号館 1 階ロビーにてフォトスポットの設置と運営を行った。また、式典では中央執行委員会として第一学生歌の斉唱と、各学科ガイダンス教室への誘導を行った。当日は多くの新入生と保護者の方々の皆様にお越しいただき、学内の誘導や記念看板設置場所への案内、記念撮影のサポートを行った。



(3)令和 7 年度学生総会（5 月 2 6 日～3 1 日）

令和 7 年度学生総会は、昨年同様学友会 Web ページを使用しオンラインで開催した。

※投票結果詳細は前述の報告資料を参照

〈所感・反省点〉

反省点として、学生総会への参加者数、投票数が年々減少している。今年度は立て看板やデジタルサイネージだけでなく、三角ポップや 5 号館サイネージなど様々な方法で情宣活動を行ったが、このような投票数は約 27%と非常に低い結果となってしまった。学友会団体に所属していない学生の参加数が非常に少なかったことが問題点として挙げられたため、今後はより一層、全学友の学友会への意識向上に力を入れていきたい。

(4)中央執行委員会企画「ドキッ☆ミニ縁日 ～夏祭り気分上々↑↑～」(7 月 9 日)

中央執行委員会が企画・運営を行い、学友への還元と、夏祭りという日本の文化体験の機会を提供し、学友に楽しんでもらうことを目的として開催する。当日は、冷凍パイনとスーパースクイの 2 種類を用意する。

学内副委員長 前期活動報告

中央執行委員会 学内副委員長
届出団体本部 委員長
加藤汐音

<活動報告詳細>

(1)春季部室清掃：3月26日(水)～27日(木)

中央執行委員会主催で春季部室清掃を行った。各団体が新年度を迎えるにあたり、粗大ごみや資源ごみなどを処分し、第一、二アジア会館・学友会館を対面で使いやすいよう、整えた。

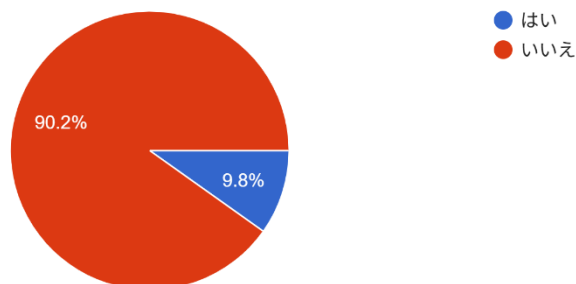
また、春季清掃で参加しなかった団体は夏季清掃に参加してもらう。

(2)マナー講習会「飲酒・喫煙の健康被害について」 5月18日(月)

飲酒・喫煙に関するマナー講習会を開講した。講師の伊東凌佑先生を招き、約一時間の講演をしていただいた。この講習には、学友会団体全団体の中から約120名が参加し、アルコールパッチテストの体験や喫煙・飲酒のリスクなどをデータや実体験も交えてお話を聴かせていただいた。更に、万が一アルコール中毒で倒れてしまった際の対処法なども補足していただいた。本各学生にとって記憶に残る貴重な講演となったことだろう。以下は、講習会直後に行ったアンケート結果である。飲酒や喫煙にまつわるトラブルを経験したことがある学生が約10%いたことが分かる。本講習で行った対処法やアルコールパッチテストの結果を振り返って一人一人改めてもらいたい。また、飲酒者数は満遍なく浸透しているのに対し、喫煙者数は少ないという結果であった。講習を踏まえて、今一度飲酒と喫煙に対する認識を改めてほしい。

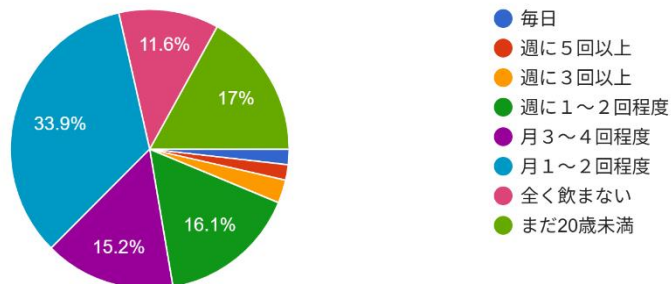
あなたは飲酒や喫煙にまつわるトラブルを経験したことがありますか？

112件の回答



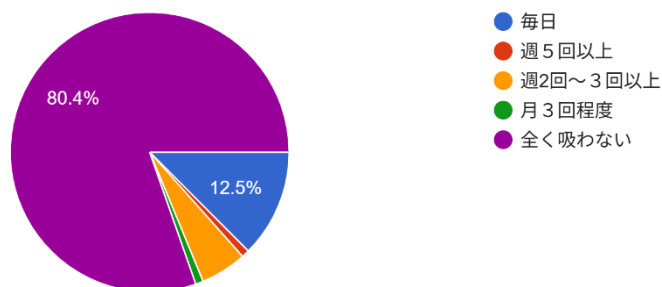
飲酒の頻度を教えてください。

112 件の回答



喫煙の頻度

112 件の回答



(3)マナーキャンペーン：7月14日(月)、7月16日(水)、7月18日(金)

武蔵野キャンパス2号館裏の喫煙所の清掃。利用整備をし、学内分煙環境の改善を図り、16役と中央執行委員会が中心となって正しい喫煙所利用の在り方を整える予定です。

<届出団体本部>

新規加盟団体の招致。今年度今現在、新規届出団体設立のお問い合わせが約5件あった。お問い合わせをしていただいた方には、アンケートへの回答と本部員との複数回の面談を行い、仮団体として2団体が活動開始している。また、他の申請があった団体についても、順次団体から正規団体へと昇格できるよう、サポートを行っている。なお、現在仮団体の方は、前期中に正規団体に昇格できるよう手続きを進めている。

<所感>

新入生に向けてアルコールパッチテスト等を用いた講習会を開催するべきである。

学外副委員長 前期活動報告

中央執行委員会 学外副委員長

卒業アルバム委員会 委員長

二本柳蒼太

〈中央執行委員会〉

＜月別活動一覧＞

4月 春期勧誘

5月 春期勧誘

10月 秋期勧誘

- ・春期勧誘：4月17日(木)～5月9日(金)

今年度に入学した新生に各団体の活動内容や雰囲気を知ってもらうとともに、新たな団体加入者を増やすことで、団体の活動の幅を広げる企画。勧誘期間中は多くの学生が団体の設けた勧誘ブースを訪れ、団体、学生共に活気ある様子が見受けられた。

＜今後の予定＞

- ・秋期勧誘:10月6日(月)～1,2週間程度実施予定

〈卒業アルバム委員会〉

＜月別活動一覧＞

6月 情宣開始

7月 第1回卒業アルバム撮影会

10月 情宣開始

11月 第2回卒業アルバム撮影会

- ・卒業アルバム第1回撮影会:7月14日(月)～7月18日(金)

ASIAPLAZA1階にて撮影会を実施予定

6月より立て看板、デジタルサイネージにて宣伝中

- ・卒業アルバム第2回撮影会:11月中旬～下旬にかけて実施予定

10月より情宣開始予定

中央事務局 前期活動報告

中央事務局 局長
原睦貴

<月別活動一覧>

- 3月 春開局、春学期管理細則フォーラム
- 4月 通常開局、春学期勧誘
- 5月 通常開局
- 6月 通常開局、団体名簿の回収
- 7月 通常開局
- 8月 夏開局
- 9月 夏開局、秋学期管理細則フォーラム開催予定

<活動報告詳細>

通常開局

- ・週間計画表や企画書等の書類受付、備品の管理、教室借用等を行った

管理細則フォーラム

- ・前年度の管理細則から改修を行った
- ・対面で行うことにより、説明を詳しくすることができた
- ・管理細則フォーラム実施のお知らせを早期に出すことにより、団体への参加を促せた

団体名簿の回収

- ・学友会団体に所属している人数の把握・大学側に共有を行うため全団体に協力していた
だき、団体名簿の回収を行っている

財務局 前期活動報告

財務局 局長
内藤諒真

<月別活動一覧>

- 1 月 資料集め
- 2 月 2025.2 財務担当国会議(前年度名称 全団体合同財担会議)
予算折衝
- 3 月 予算折衝
年度末決算準備
春期清掃
- 4 月 予算折衝
年度末決算
ハヤト商事様 ご挨拶
新入生勧誘
会計監査委員会選挙実施
第 1 回 全財務局ミーティング
- 5 月 第 1 回 会計監査委員会ミーティング
2025.5 財務担当国会議
議案書作成
第 1 回 学友会財務局ミーティング
ハヤト商事 リユース PC についてのご相談
予算交付受付
第 2 回 全財務局ミーティング
- 6 月 予算交付申請
学生総会質疑応答
第 2 回 会計監査ミーティング
第 3 回 全財務局ミーティング
- 7 月 監査講習会

<活動報告詳細>

(1) 2025.2 財務担当国会議 (2 月 6,7 日)

新財務担当者への挨拶と、禁止項目の周知を実施。

また、現状の財務状況と予算折衝を中心に、今後の予定について説明を行った。

(2) 予算折衝 (2月12日～4月28日)

学友会を中心に体育会団体、文連団体を含めた全団体と折衝を実施

発生した問題点

- ・ コロナ禍による過去の継承の崩壊
- ・ 活性化のための基金取り崩しによる金銭感覚の崩壊
- ・ 限度額が明確でない故の各団体からの提出される予算額
(例:活動費として収入が6500万ほどに対し1団体で500万の予算要求)
- ・ 経験不足による予算折衝の感覚のズレ
- ・ 3役との方向性のズレ

対策方法

- ・ コロナ禍前の金額の資料の発見
- ・ 体育会、文連団体でのベースの設定(文連 1500万 体育会 2500万)
- ・ 予算折衝への積極的な介入(特に:体育団体)
- ・ 予算案での詳細な質問
- ・ 監査部長、総務部長の予算折衝への同席(発言権はなし)
- ・ 財務局長主導での予算折衝メンバーでのミーティングの実施

結果は以下の通り

↓

学友会団体名	R4	R5	R6	R7
中央執行委員会	¥28,346,000	¥24,757,000	¥24,800,000	¥8,639,000
中央事務局	¥725,000	¥83,000	¥124,200	¥364,000
広報局	¥2,724,000	¥3,859,000	¥2,983,626	¥3,328,000
国際文化局	¥1,311,000	¥1,898,000	¥1,496,000	¥3,678,000
福利厚生局協助会	¥1,575,000	¥1,109,000	¥1,115,076	¥1,083,000
体育祭	¥2,137,000	¥3,025,000	¥2,700,000	¥1,900,000
アジア祭	¥13,023,000	¥12,417,000	¥14,000,000	¥19,154,000
健康保険委員会	¥127,000	¥200,000	¥73,000	¥0
県人会(県人祭含)	¥7,132,000	¥7,938,000	¥8,540,000	¥4,698,000
音響	¥173,000	¥577,000	¥741,000	¥1,820,000

新聞	¥515,000	¥256,000	¥460,000	¥0
新入生	¥38,000	¥229,000	¥984,000	¥669,000
文連本部(文連祭含)	¥13,468,310	¥7,802,000	¥24,093,000	¥15,097,000
文連団体(割当金)	¥1,797,690	¥1,686,000	¥4,012,130	¥3,458,000
体育会本部	¥7,738,000	¥4,052,000	¥4,198,188	¥755,000
体育団体	¥21,020,000	¥40,386,000	¥35,466,740	¥22,852,000
合計	¥101,850,000	¥110,274,000	¥125,786,960	¥87,495,000
実績	¥83,404,184	¥106,537,851	¥103,942,517	¥76,160,009
倍率 (=実績/合計)	0.8188923319	0.9661194026	0.8263377778	0.8704498374

※R4 新研は補助金 124,341 円有

※R7 倍率は(R4～R6 の実績/合計の合算)÷3 で算出

※R7 実績は R7 合計*倍率で算出

結果

- ・ベースの設定がかなり有効的か
- ・財務局の形骸化による工程等の問題を確認
- ・全体との情報収集量による問題意識の差
- ・監査部長、総務部長の同席も有効

対策

- ・全団体の基礎ベースを模索する会議の実施(8/22 , 9/9)
- ・状況説明の機会の増加
- ・引継ぎ書類の作成
- ・財務課、学生センターとの情報共有(ファイル共有等)

(3) 春期清掃 (3月26日～27日)

財務局室清掃の実施

また、財務局主導で廃部となった健康保険委員会の委員会室の清掃へ

現在は、会計監査委員会の会室 兼 第二財務局室 として使用へ

(4) 年度末決算準備,年度末決算 (3月末～5月上旬)

財務局顧問兼アドバイザーである澤畑さんの協力の下、学生総会での公示となる令和 6 年度分の決算書類を作成

コロナ禍等の影響から曖昧化していた議案書を、正規の形で再構成→完成へ

(5)新入生勧誘

局員増加に向け総務部長、監査部長の二人を勧誘の主軸とし、勧誘を実施
二人の策案による活発な情報発信やコミュニケーションの実施の結果、2023年度5名 2024
年度6人に比べ、今年度は1年生6名、2年生4名、計10名の勧誘に成功

(6)会計監査委員会選挙（3月～4月末）

事実上昨年度廃止となっていたオブザーバー団体の復活
財務局の主導により、定員上限5名(現在上限10名に変更)を集め、無事認可→就任へ

(7)ハヤト商事様 新年度ご挨拶（4月15日）

振込・立替制度から割当金制度への変更に伴う請求書宛名記載の変更のお願いを含めた新
年度のご挨拶の実施

(8)第1回全財務局 MT（4月25日）

前年度まで各財務局の横繋がりがなかったことを反省し、横の繋がりを連携速度などの強
化のため、月1で実施へ
第1回目では、財担会議のリハーサルや証憑などの対応方法の共有へ

(9)2025.5 財務担当者会議（5月7日～9日）

振込・立替方式から変更となった割当金方式の変更の経緯と方式の説明を実施
また、それに伴う「収支簿の記入方法」と「スクラップ帳の使い方」の説明資料を作成・
配布するとともに、顧問の澤畑さんと協力し、説明を行った

(10)第1回学友会財務局 MT（5月23日）

今年度から、局内の円滑化のために毎月1回以上のミーティングの実施へ
今回は新入局員を含めた初回という事もあり、総務部長と監査部長二人の考案下レクリエ
ーションを中心としたミーティングの実施した

(11)予算交付受付（5月12日～5月29日）

今年度は各団体に請求書の記入依頼→回収、確認といった方法ではなく、会場に団体長
と財務担当者の両方を来局させ必要書類に記入をさせた。
(必要書類:誓約書,請求書)

(12)第2回全財務局 MT（5月30日）

第2回目の各財務局合同によるミーティングの実施
ここでは今後の予算交付の実施方法や財担会議等の準備状況の確認を行った

(13)予算交付申請（6月5日～）

（11）で行った交付受付の受付済かつ書類提出済の団体の予算振込依頼へ
6/22 時点で交付対象である団体の内、文連団体:3 体育会団体:1 の計 4 団体を除くその他団体には交付済

<今後の課題>

半期の活動を経て、多くの課題点が見受けられた。財務局側の問題としては、過去の政策の取り組みや意図、その結果からなる課題点前等の情報が不足していることや、経験不足故の財務局長としての判断ができない等、経験と情報量という 2 側面からの問題が頻発した。また、赤字額を減らす取り組みとして過去に条文の制定が行われてきており、その弊害として購入物の制限が乱発してしまっている現状が見受けられる。

一方で予算交付の形式化による金銭に対する責任感の欠如が一部団体で見受けられた。

そこで、今後は早期からの引継資料の作成を行うと共に、財務局顧問の澤畑さんや学生センターとの関係を強化し、各団体の意識改革を行うとともに、大学に開かれた財政管理の一步として行きたい。

国際文化局 前期活動報告

国際文化局 局長
砂田海俊

<月別活動一覧>

- 2月 洋上大学(海外研修)
- 5月 第一回留学生交流会
- 6月 学食フェア
- 7月 第二回留学生交流会

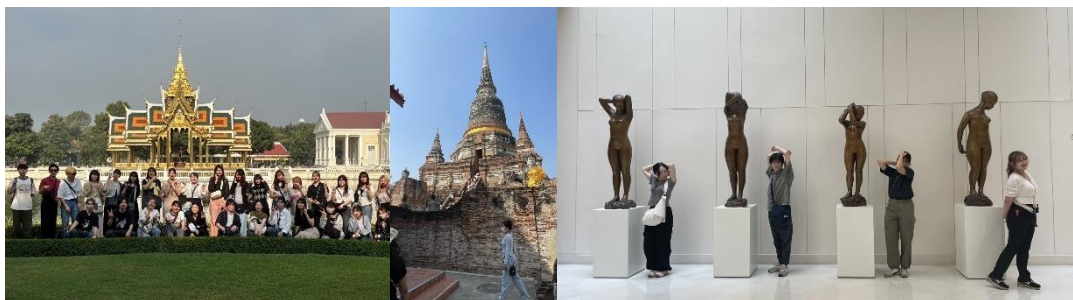
<活動報告詳細>

(1)洋上大学(2月2日～6日)

今回の洋上大学では、タイを訪問し、「伝統とモダンの融合」をテーマに 30 名の学生とともに研修を実施した。アユタヤ遺跡群やワットパクナムといった伝統的な寺院や宮殿を訪れてタイの歴史を体感し、マハナコーンタワーなど現代の建造物にも訪れた。5 日間の研修を通じて、タイの歴史や文化について理解を深めることができた。

<所感・反省点>

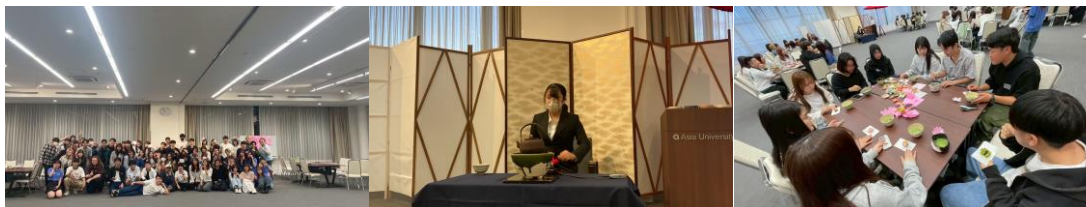
前年度の反省を踏まえ、広報を強化し一般参加者を 20 名ほど増やすことに成功した。だが、今回は現地の学生との交流を行うことが出来ず、新しい価値観に触れる機会を設けることができなかった。そのため今年度は現地学生との交流に加え、現地の企業訪問も行う方向で準備を進めている。



(2)留学生交流会「春のお花見交流会～Let's make flowers bloom on dead trees～」(5月8日)

PLAZA ホールにて、留学生と日本人学生の交流をする機会を提供するために開催した。今回は「お花見」をテーマに、留学生に日本の伝統的な文化を体験してもらうプログラムを設定した。折り紙で桜を作る体験や日本の伝統的な遊びの体験など、様々な企画を用意

した。また、古典研究会とのコラボレーションも実施するなど学友の国際交流への意識の高揚を目指した。約 60 名の学友が参加し、プログラムを通じて交流を深めることができたと考えられる。



(3)学食フェア「味覚の世界探訪」(7月2日～7月4日)

学食を運営しているスエヒロ様にご協力いただき、学友に海外の料理を食べることを通じて世界の文化に興味を持ってもらうことを目的に企画した。7月2日～7月4日の3日間 ASIAPLAZA にて行われ、各種 100 食ずつ無料で提供した。1 日目はベトナム料理、2 日目はオーストラリア料理、3 日目にはギリシャ料理を提供し、学友の国際的視野の拡大を図った。

<所感・反省点>

今回の学食フェアでは例年とは異なり、学友に料理を無料で提供した。以前までは購入に 300 円を要していたが、スエヒロ様との話し合いの結果により無料で提供できるようになった。深く感謝申し上げたい。これは顧問の北川さん含め学生センターのご尽力のおかげである。今後は他の企画でも形骸化してしまっている問題点があれば解決していきたい。

1 日目

バインミーセット



2 日目

バラマンディセット



3 日目

ギロスセット



(4)留学生交流会「天の川ウォーズ～願いをかけた大乱戦～」(7月3日)

PLAZA ホールにて、留学生と日本人学生が交流する機会を提供することを目的として開催した。今回は「七夕」をテーマに、学友の国際的視野が広がるような様々なゲームを行った。内容は、母国語以外を使って答えを導くクイズやチームで同じポーズを揃えるゲームなど日本人学生と留学生の交流が深まるよう工夫した内容とした。春の交流会よりも世界の文化のことを内容に組み込むことで、学友の国際交流への意識を高めることができたと思う。



広報局 前期活動報告

広報局 局長
菅野真央

<活動内容>

- 2月 新入生向け資料（『学友会誌』『心』『建学の精神を語る』）の作成
- 3月 新入生向け配布資料の作成、情宣マニュアルの配布及び説明、卒業式の取材
学友会 HP のリニューアル
- 4月 入学式の取材、春学期勧誘
- 5月 県人祭取材
- 6月 文連祭取材

<活動詳細>

・新入生向け資料の作成

団体情報、学友会の各種制度を掲載した『学友会誌』のほか、『心』『建学精神を語る』の発行を行った。

3月末に上記資料及び各団体の発行物の袋詰めを行い、出会いの広場内で配布した。



・学友会 HP のリニューアル

学友会ホームページは各団体の活動内容や組織構成、選挙情報などを学生に提供することを目的としている。前回のホームページはコロナ禍を前提に作られており、古い情報が多かったことから今回のリニューアルに至った。

新しいホームページは、緑を基調としたシンプルなデザインにすることで、亜細亜大学らしさを出しつつも情報の迅速な伝達とアクセスのしやすさが向上した。今後は学生の意見を取り入れながらコンテンツの充実を図っていく。

(URL : <https://www.studentcouncilasia.com/>)



・情宣マニュアルの配布

情宣までの手続き方法を記載したマニュアルの作成を行い、3月に行われた中央事務局主催の管理細則フォーラム内で配布及び説明を行った。

福利厚生局協助会 前期活動報告

福利厚生局協助会 局長
木下美優

<月別活動一覧>

- 2月 令和6年度 厚生協助資金制度 申請受付および集計終了
- 3月 My campus2025 刊行
- 4月 春季勧誘活動 開始
- 6月 令和7年度 厚生協助資金制度 令和7年度キッチンカー企画 開催
- 7月 夏の学食フェア 開催

活動報告

<<2月>>

- ・令和6年度 厚生協助資金制度 申請受付および集計終了

昨年度同様、対面での受付とオンラインでの受付を可能とし、手続きの円滑化を図った。令和6年度の利用者は計10名。7名が対面、3名がオンラインにより、いずれも2万円での申請であった。引き続き2通りの申請方法を受け付け、手続きの円滑化を図っていくことはもちろんのこと、認知向上に努めていきたい。

<<3月>>

- ・My campus2025 刊行

福利厚生局協助会では毎年、新入生を対象に出会いの広場にて配布しているMy campus を今年度も作成・刊行を行った。亜細亜大学購買部ブックセンター協力のもと、2000部作成・刊行を行い、1800部を配布した。掲載する施設について細かく記載し、新入生にとって読みやすいものになるよう仕上げる事が出来た。

写真1

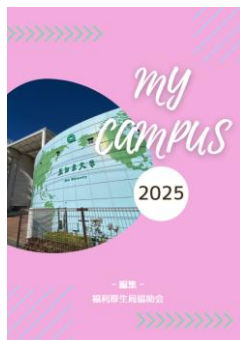


写真2



写真3



≪4月≫

・春季勧誘活動 開始

4月中旬から5月上旬に春季勧誘活動を行い、新1年生が8人、2年生が1人、3年生が2人、計11人が入局した。

≪6月≫

・令和7年度 キッチンカー企画 開催 企画名：肉巻きゴロゴロ大行進

今年度は6月19日にキッチンカー企画として肉巻きおにぎりの販売を行った。価格は100円、食数は100食限定とした。当日は気温が高く、炎天下であったが13分で完売し大好評を得た。

・令和7年度 厚生協助資金制度 受付開始

今年度4月中旬から5月下旬に令和7年度 厚生協助資金制度の概要を確定させた。昨年度とは大きく異なり、今年度からは厚生協助資金額を2万円から5万円に引き上げ、更に3万円以上借りた場合は返済期間を2ヶ月以内にすることが可能になった。なお、令和7年度学生総会に不参加の場合、いかなる理由においても申請を受け付けない。詳細については公式HPにも記載がある。

～令和7年度 厚生協助資金制度 概要～

〈申請適用項目〉

原則、生活費（家賃、公共料金支払い、定期代を含む交通費、教材費）等、就活活動費、学内団体における活動費および授業料（課程科目に限る）に関して申請を受け付ける。

〈申請受付期間〉

春期：令和7年6月16日（月）～7月18日（金）

秋季：令和7年10月6日（月）～12月19日（金）（いずれも長期休暇中は除く）

開局日および時間帯：月曜日、火曜日、金曜日の12：30～13：00

〈申請受付方法〉

原則、申請は対面方式およびオンライン方式の2通りの方式で受け付ける。
2通りの方式以外での申請は受け付けない。

≪7月≫

・夏の学食フェア 開催

福利厚生局協助会では、7月に1回、12月に1回学食フェアを行っている。

昨年度の学食フェアでは暑い夏でも元気が出る肉料理がメインであったが、今年度の夏の学食フェアでは暑い夏でも食べやすい麺料理がメインとなる予定である。
公式 SNS などでも周知させ多くの学生に来てもらえるように努めていく。

アジア祭実行委員会 活動報告

アジア祭実行委員会 委員長
小川圭太

<月別活動報告>

- 12月 第66回アジア祭の反省会、新体制への引継ぎ
- 1月 スローガン、テーマ策定
- 2月 予算折衝
- 3月 予算折衝
- 4月 春学期勧誘、新入生向け説明会
- 5月 新入生を迎え入れての新体制始動
- 6月 屋台、展示、出演者向け説明会

<月別活動予定>

- 7月 各部署活動
- 8月 各部署活動、リハーサル等の開始
- 9月 出演タレント等リリース、リハーサル
- 10月 全体通しリハーサル等
- 10月31日～11月4日 アジア祭期間
- 12月反省会

<活動詳細>

・新入生向け説明会

→例年通りに、部署ごとの活動内容やアジア祭についての説明、アジア祭執行の紹介など行いました。

・新入生を迎え入れての新体制始動

→今年も多くの新入生がアジア祭に応募をしてくれました。

・屋台、展示、出演者向け説明会

→例年と同等数の団体の方々が参加してくれました。

各部署で、第67回アジア祭に向け活動を始めています。

コンサート、トークショー、後夜祭の関係者との初回打ち合わせを終えました。

より良いアジア祭を迎えるために、関係してくださる方や団体との、打ち合わせを重ね、来場してくださるお客様に楽しんでもいただけるよう、アジア祭実行委員会一同尽力してまいります。

体育祭実行委員会 前期活動報告

体育祭実行委員会 委員長
河津日那子

<月別活動一覧>

- 4月 体育祭に向けてのミーティング
春学期勧誘
- 5月 PJ 説明会
第 66 回体育祭(天候不良のため中止)
- 6月 新体制への移行

<活動報告詳細>

(1)春学期勧誘

勧誘活動を実施し、1 年生 32 名が加入した。

委員数は 60 名(4 年 : 5 名、3 年 : 16 名、2 年 : 6 名、1 年 : 33 名)となった。

(2)PJ 説明会(5 月 9 日)

体育祭運営を手伝っていただく PJ(協力員)に関して、他団体に所属する学友約 30 名に協力を依頼した。協力員に対する当日の流れや役割の説明会を、昨年度の反省を踏まえ二日間開催から一日開催へと変更し、効率化を図った。

(3)第 66 回体育祭(5 月 25 日)

本年度の体育祭は 5 月 25 日(日)に開催を予定していたが、当日は悪天候の予報が出ていたため、安全面等を考慮し中止とした。

体育祭に向けては、以下のような準備を進めていた。

- 競技内容の企画(棒引き、障害物競走、しっぽとり、リレー)
- 当日の運営マニュアル作成
- 備品の確認と手配
- 情宣物やパンフレットの作成

<所感・反省点>

- ・PJ 説明会の開催方法を一日に集約したことで、参加率の向上と準備の効率化が図れたことは今後の参考になると感じた。
- ・一方で、雨天時の代替案や予備日確保の可能性について、事前により具体的な検討を行っておく必要性を感じた。

音響技術委員会 前期活動報告

音響技術委員会 委員長

荒幡光汰

<月別活動一覧>

- 4月 春季勧誘・文連新入生歓迎会
- 5月 県人祭
- 6月 文連祭
- 7月 吹奏楽団サマーコンサート（7月13日予定）

<活動報告詳細>

(1)春季勧誘

勧誘を実施し、1年生13名・2年生4名が新たに加入した。

(2)県人祭（5/12・5/15）、文連祭（6/16～6/21）技術協力

講堂内ステージで行われた学内行事において音響の技術提供を行った。

具体的には、マイクやCD再生の操作、バンド機材の設置と音響の調整を担当した。

また、県人祭では実際に音響のプロの方と仕事する機会があり、様々なことを学ぶことが出来た。

<所感・反省点>

- ・大きなトラブルなく行事を支えることが出来た。
- ・今年度は入会者が多く、前期では機材の扱いや仕事内容を十分に説明しきれなかった。そのため、長期休暇やアジア祭の前に勉強会などを開催し、全員が理解できる環境を整えていきたいと考えている。

新入生研修委員会 前期活動報告

新入生研修委員会 委員長
吉澤敦博

<月別活動一覧>

1月 班付補助学生顔合わせ会
2月 2月研修 出会いの広場
3月 3月研修
4月 出会いの広場
5月 新入生勧誘
6月 出会いの広場反省会
第1回ミーティング

<活動報告詳細>

班付補助学生顔合わせ会（1月11日）

アイスブレイクなどを通して補助学生同士が交流し仲を深めることで4月の出会いの広場に向けて一致団結することができた。

出会いの広場事前下見（2月7,8日）

幹部メンバーで実際に出会いの広場で宿泊するホテルやレジャー施設に行き、本番の流れの想定や、本番に向けて準備、昨年度から改善が必要な点、当日の注意点などを確認することができ、下見での情報をその他の新入生研修委員会のメンバーや補助学生に共有することで本番の注意事項などを共有することができた。

2月研修(2月20,21日)

補助学生に対して学部、学科ごとの単位取得方法の説明や、カウンセリングセンターの協力の元、新入生とのより良い接し方について学ぶロールプレイなどを行った。この研修を通して補助学生に新入生を迎え入れる意識を高めることができた。

3月研修(3月18,19日)

出会いの広場を間近に控え、補助学生に向けて細かな点の確認や準備を行った。
この研修を通して補助学生と出会いの広場の目的、注意事項などを共有することができた。

出会いの広場（4月7～11日）

昨年度に引き続き宿泊型の出会いの広場として、初日は学内、2日目以降は学部ごとに静岡県伊東市で一泊二日というスケジュールで開催された。初日の学内では学部ごとに履修の仕方や亜大ポータルの使い方など大学生活での必須事項の説明がメインとなった。一泊二日の宿泊では午前中に学校を出発しお昼ごろに観光地へ到着、夕方にホテルへ到着

し夜ご飯を食べ、亜細亜大学についてより知ってもらうための班対抗クイズ企画を開催するなど新入生同士の交流や団体紹介などを行った。また新入生からは「来年は補助学生として参加したい」「大学生活が楽しみになった」「新入生、先輩関係なく交流できた」など好評の意見をいただいた。

<所感・反省点>

今年も昨年度に引き続き宿泊型の出会いの広場を開催させることができた。昨年度の反省を踏まえ、研修を行った結果ルールを破る学生を減らすことができた。また今年度は多くの補助学生が自主的に手伝ってくださったこともあり、より安全に出会いの広場を運営することができた。

一方、楽しみすぎて、ルールを守れない新入生や補助学生がいたことや 2 月研修 2 日目のロールプレイを欠席する補助学生が多くいたことなど課題点が残った。このことに関しては事前研修の内容の見直し、補助学生の面接制度の見直しを行い、補助学生が出会いの広場にむけて高い意識をもっていただけるよう対策を行いたい。

新聞委員会 前期活動報告

新聞委員会 委員長
鶴巻拓人

<月別活動一覧>

- 4月 春学期勧誘
- 5月 広報局・新聞委員会合併協議会
- 6月 広報局・新聞委員会合併協議会
- 7月 懸賞小説企画開始

<活動報告詳細>

<4月>

春学期勧誘を行ったが新たに加入した人数は0で、現在所属している委員が全員4年であることから合併協議会に進展した。

<5月～6月>

広報局と合併の話を進めた。主に現状の確認、広報局の年間スケジュールに合わせて新聞委員会のイベントを行うことは可能なのか、懸賞小説企画の内容について協議した。

まず、新聞委員会の現状は人数が4人であり、新聞を以前では紙媒体で発行していたが数年前よりデータ化し、新聞委員会のサイト(WIX)にて活動していた。しかし、コロナ禍を経て引継ぎが行われておらず、サイトを開くことができず停滞してしまっている。なので、広報局と合併後は学友会報一本にしようと考えている。

<7月>

懸賞小説企画を開始した。合併協議会で出た新案として懸賞小説企画にて入選した作品を「軌跡」という冊子にして発行するものをオンライン発行にする、審査方法を以前は教授の方に依頼をしていたが、新聞と広報の執行、中央執行委員会の学生が審査し、賞金を減らす方向に進めた。

例年に比べて募集期間が短いが来年度にも活用できるように新しい体制で企画を通したいと考えている。

県人会連合会前期活動報告

県人会連合会 委員長

大澤 真陽

〈月別活動一覧〉

3月 リーダースキャンプ、県人祭準備

4月 県人祭準備

5月 県人祭、新歓 BBQ、新歓説明会

6月 前期行事

〈活動報告詳細〉

1 リーダースキャンプ、県人祭準備

県人祭まで残り2か月まで迫っていたため、最終段階に向けて後輩たちが準備をした。また、リーダースキャンプ時以外の時も学校に集まって準備をして学年の垣根を越えてより多くの人と団結力を付けることができた。

2 県人祭

反省点が少しあったが、大きな問題なく無事に成功した。ゆるキャラパレードでは多くの人に参加して記念撮影をしていた。芸人様のお笑いライブでは大変盛り上がり観客の大きな歓声が聞こえた。学食コラボ、郷土芸能では多くの方にこんな食や芸能があることを宣伝することができた。また、他の団体様にも参加して頂いたことによってより盛り上げることができた。

3 新歓 BBQ、新歓説明会

新歓 BBQ では既存のメンバー合わせて150人近くの人に参加して、多くの新生と県人会に入る前に話すことができた。新歓説明会では2日間で約200人の新生が参加して今年は110人以上県人会に入会した。

4

4 前期行事

県人祭が終わってから約1か月間、それぞれのグループで前期行事に向けて準備した。当日、多くの方に参加してもらうことはできなかったが、参加してくれた方には楽しんでもらうことができて良かった。

〈所感・反省点〉

- 後輩たちが約半年以上をかけて準備していたため成功することができた。
- 情宣が足りなく学食コラボの1日目や前夜祭でお客様が少なかったため来年はより情宣に力を入れて1日目から盛り上げたい。

- 県人祭準備期間中に他団体との間で問題が起きてしまったことがあったため、今後そのようなことがないように報告を徹底していきたい。

学術文化連合会執行委員会 前期活動報告

学術文化連合会執行委員会 委員長

三浦 楓華

〈月別活動一覧〉

3月 リーダースキャンプ

4月 新入生歓迎会

小委員会説明会

6月 新入生オリエンテーション

文連祭

〈活動報告詳細〉

(1)リーダースキャンプ(3/11～3/13)

学術文化連合会に所属する団体の主務、副主務が二日かけて、一年間の団体としての指針や各団体がさらに輝くためにはどのような方法があるかを考える一年間の最初として最も重要度の高い行事であった。

(2)新入生歓迎会 「Welcome to 文連！」(4/21・30)

この行事は、主に新入生に焦点を当て、学術文化連合会の認知度の向上及び会員数の増加を期待して行われた。このイベントでは、全文連団体が200教室にて団体勧誘や説明会を行う日と講堂にて、ハワイアン研究会や世界民謡研究会、演劇研究会劇団『つた』、ガムラン研究会の4団体によるパフォーマンスをしていただく日の二日にかけて開催した。

(3)小委員会説明会(4/23)

この行事では、今年度の文連の運営・活動に欠かせない小委員会のメンバーを募ることができた。執行諮問委員会や選挙管理委員会などを筆頭に、多くのメンバーを集めることができた。

(4)新入生オリエンテーション(6/1)

この行事では、今年度から文連に加入した新入生同士の交流を行うことができた。また、小委員会説明会で募集した企画審議委員会の最初の活動としても有意義な時間であった。

(5)文連祭(6/16～6/21)

第56回文連祭を開催した。各夜祭では、各団体のパフォーマンスや芸人ライブを行い、大盛況をおさめた。前夜祭では、ハワイアン研究会と世界民謡研究会のコラボバンド、A-1では、文連にまつわるクイズや主務対抗バトルを実施した。

夜祭以外では、3号館の各教室を使用して各団体の展示を行い、学食フェアは2日間で200食を完売させることができた。

【リーダーズキャンプでの集合写真】



【新入生歓迎会のライブパフォーマンス】



学友会体育会本部 前期活動報告

体育会本部 委員長
松尾伶武

<月別活動一覧>

2月 リーダーズ研修会
6月 フレッシュマン研修会

<活動報告詳細>

(1)リーダーズ研修会（2月18日）

体育会諸団体の主務と財務担当者を集め、体育会本部との間で行われる書類の提出や財務の帳簿の付け方などの研修を行い、1年間の活動がスムーズに行えるようにする。また、体育会所属団体として、体育会という一つの団体であり、その体育会を一丸となり発展させる意識付けや各団体の交流を行った。

(2)フレッシュマン研修会（6月29日）

本研修会は、体育会各団体に所属する新入生同士が、部活動の垣根を越えて交流を深めることを目的として実施した。

当日は、体育会団体を混合したチームを編成し、障害物リレー、ドッジボール、大縄跳び、借り物競走などのアクティビティを通じて、協力やコミュニケーションの重要性を体感できる内容とした。

参加者からは「他団体の仲間と楽しく関われた」「チームワークの大切さを実感できた」などの声が寄せられた。

本研修会を通じて、今後の体育会活動におけるつながりの基盤を形成することができたと考える。

フレッシュマン研修会の様子

・障害物リレー（パン食い競争）



・閉会式後の集合写真



3. 今後の活動について

問題点 学友会の認識率、学友会員意識の低下

【学友会の目的】

- ・ 学生自治組織
- ・ 建学精神『自助協力』、建学理念『アジアの融合に新機軸を打ち出す人材の育成』の達成
- ・ 楽しい大学、よりよい学生生活にするために学生自身で考え、学生の手で実現する

【現状】

学友会の認識率、会員意識の低下

- ・ 学友会行事（4大祭、学生総会）参加者数の減少
 - ・ 学友会制度の利用者、認知度が低い
- 学友会行事が、学友会団体所属者のみの行事となっている
- よりよい学生生活のための意見の減少、推進力の低下
- 団体所属者と所属していない学友との隔たり
- 学友会費の還元対象が一部の学友のみになっている

【今後の対策】

- 学校教職員、施設との連携
どの学友も利用する学内施設（学食、図書館など）で企画や助成を行う事で、団体に所属していない学友へ学生生活の支援を行う。また、教職員との連携を深め、学部やゼミ単位から学友会行事への参加を促進する。
- より有意義な学友会活動の促進
学生総会や目安箱の意見をより活動に反映させ、学生が学生自身の活動でよりよい大学を創り上げているという認知向上を目指す。また、各学友会団体への活動内容の見直しや予算編成の再確認により、5局、文連、体育会問わず団体の活動をより活発化させる。
- 情報宣伝活動へ注力
団体の活動情報が所属者のみではなく、全ての学友にまんべんなく行き渡るような方法や数量の工夫を行う。また、学友会 HP のコンテンツの充実化を図り、全学友の情報入手媒体としての価値を創出する。

令和7年度 第1回 学友会 連絡協議会議事録

日時：令和7年7月9日(水) 17時30分～

場所：1号館 14階第6会議室

【学生総会報告】

令和7年度学生総会

期間：令和7年5月19日(月)～31日(土)

学生総会出席者数：1825人

開催方式：オンライン(学友会 Web ページ上)

令和7年度学生総会は、全学友会員の4分の1以上の出席を以て成立し、出席会員の過半数の承認を以て可決。

議案書内容：1、令和6年度活動報告及び決算報告

2、令和6年度監査報告

3、令和7年度学友会活動方針

4、令和7年度予算案

5、各会則の改正

6、学友会制度紹介

〈大学主催の説明会について〉

- ・新入生の大半がガイダンスに参加し、内容に満足していることが分かった。
- ・パソコンの使い方説明や他学部との交流が欲しい(1年生)
- ・就職活動セミナーに多くが参加。(2～4年生)
- ・奨学金関連の説明会開催の要望あり。(2～4年生)

〈履修登録について〉

- ・履修登録や抽選制度について多くが満足。(1～4年生)
- ・105分授業が長い(1年生)

〈学友会について〉

- ・学友会制度の認知度の低さが問題点。
- ・団体に所属していない会員は学友会活動以外の活動に興味を示している。

〈学内の施設利用について〉

- ・アジアプラザの利用頻度は週 1～2 程度の利用が最も多い。
- ・座席数や混雑に関する意見や要望が多数。

〈留学について〉

- ・参加の可否に関わらず、制度や奨学金関連での意見や要望が多数。
- ・参加者からも制度や主催のサポートについての意見が目立つ。

【前期活動報告】

中央執行委員会

・令和 6 年度卒業式(3 月 15 日)：フォトスポットと写真展示を実施。約 800 人の卒業生・保護者が来場。1 部制開催に対する混雑緩和に尽力できた。

一方、卒業生全員に感謝を伝えることが目的だったが写真展示に偏りがあり学友会団体所属者の来場が目立った。工夫し改善したい。

・令和 7 年度入学式(4 月 3 日)：5 号館 1 階ロビーにてフォトスポット、学生歌斉唱、各学部の誘導を実施。

・令和 7 年度学生総会(5 月 26～31 日)：Web にて開催。本年度の投票率は 27%となった。参加数、投票数が年々減少している。今後はより一層力を入れて活動していきたい

・中央執行委員会企画(7 月 9 日)：学友への還元と日本伝統の夏祭り体験を提供。

学内副委員長

・春季清掃(3 月 26～27 日)：第 1、2 アジア会館と学友会館を対面で使いやすくなるよう清掃を実施。不参加団体は夏季清掃への参加を依頼予定。

・マナー講習会「飲酒・喫煙の健康被害について」(5 月 18 日)：外部講師をお招きし 1 時間の公演を実施。パッチテストや被害のデータ、実体験も交えてお話していただいた。飲酒や喫煙について考えを改める機会にしてほしい。新入生に向けた講習会開催も検討中。

・マナーキャンペーン(7 月 14 日、16 日、18 日)：喫煙所清掃、利用整備で正しい喫煙所の在り方を整える予定。

・届出団体本部：新規届出団体問い合わせが 5 件あり。アンケートや面談を経て現在は 2 団体が仮団体として活動中、前期中に正規団体に昇格できるよう手続き継続中。

学外副委員長

- ・団体勧誘(春季・秋季)：団体加入者増加を目的。
- ・卒業アルバム委員会：卒業アルバム撮影会を順次実施予定。

中央事務局

- ・通常開局：活動する上での団体サポートを行った。
- ・管理細則フォーラム：昨年度3月に実施、対面で詳細を説明できた。秋学期も実施予定。
- ・団体名簿の回収：学友会に所属している人数を把握し、大学側との共有を進めたい。

財務局

- ・2025年2月財務担当者会議：財政状況説明や予算折衝の方向性の確認を実施。
- ・予算折衝(2月12日～4月28日)：全団体と実施。コロナ禍や経験不足による予算感覚のズレが発生。コロナ禍前の資料を活用しベース金額の設定、確認を行った。2年生を予算折衝に同席させることで引継ぎの円滑化も行った。
- ・財務担当者会議(5月)：振込立替金方式から割り当て金方式への変更を実施。収支簿の記入方法とスクラップ帳の使い方の資料配布と説明を実施。
- ・今後の取り組み：引継ぎ不足や過去の改正の弊害が乱発している。早期からの引継ぎや各団体の意識改革を行うとともに、大学に開かれた財政管理を行いたい。

国際文化局

- ・洋上大学(2月2～6日)：タイにて「伝統とモダンの融合」をテーマに30名の学生とともに実施。広報活動を強化したことにより昨年比で参加者を20名増やすことができた。今回は現地の学生との交流ができなかったため、今年度は現地学生との交流や企業訪問も行う方向で話を進めている。
- ・留学生交流会(春、夏)：春は日本の伝統文化を体験してもらうため、お花見や折り紙を実施。夏では七夕をテーマに様々なゲームを実施。
- ・学食フェア(7月2～4日)：学食運営のスエヒロ様、学生センターにご協力いただき、アジアプラザにて各日100食無料提供。ベトナム、オーストラリア、ギリシャ料理の提供により学友の国際的視野の拡大を図った。

広報局

- ・新入生向け資料の作成：「学友会誌」「心」「建学精神を語る」を発行。3月末に袋詰めを行い、出会いの広場内で配布した。
- ・学友会 HP リニューアル：以前の HP はコロナ禍を前提に作成されたため、情報改定も兼ねたリニューアルを実施。迅速な情報提供を図るとともに、今後は学生の意見を取り入れながらコンテンツの充実を図る。
- ・情宣マニュアルの配布：中央事務局主催の管理細則フォーラムにてマニュアル配布。

福利厚生局協助会

- ・令和 6 年度厚生共助資金制度申請受付及び集計終了(2 月)：令和 6 年度は 10 名が利用。手続きの円滑化や認知向上に今後も努めたい。
- ・My campus 2025 刊行：新入生が見やすいよう心掛けて作成できた。
- ・春季勧誘：計 11 名が入局
- ・令和 7 年度厚生協助資金制度受付開始：2 万円から 5 万円に額面を引き上げたほか、3 万円以上借りた場合は返済期間を 2 か月以内にすることが可能になった。
- ・学食フェア(7 月)：多くの学生に還元できるよう努めていく。

アジア祭実行委員会

- ・新入生向け説明会(4 月)：例年通り部署、アジア祭、執行紹介を行った。
- ・新入生を迎えての新体制(5 月)：多くの新入生が加入。
- ・屋台、展示、出演者向け説明会(6 月)：屋台や展示の注意事項説明や次回以降の説明会開催の告知を実施。

体育祭実行委員会

- ・春学期勧誘(4 月)：勧誘実施で 32 人の新入生が加入。
- ・PJ 説明会(5 月 9 日)：昨年度の反省を生かし、2 日間開催を 1 日開催へ変更し効率化を図った。
- ・第 66 回体育祭(5 月 25 日)：悪天候で中止となったが、各自が入念な準備を実施できた。

音響技術委員会

- ・春季勧誘(4月)：勧誘実施により、1年生13人、2年生4名が新たに加入。
- ・県人祭、文連祭技術協力：県人祭では音響のプロの方と仕事をする機会があり、様々な学びを得ることができた。
- ・機材の扱いや仕事内容に関する勉強会を実施し、入会者全員が仕事を理解できる環境を整えたい。

新入生研修委員会

- ・補助学生顔合わせ会(1月9日)：アイスブレイクによる補助学生同士の交流を実施。
- ・出会いの広場事前下見(2月6～7日)：昨年の反省を踏まえ、ホテル側との打ち合わせや本番の流れの想定を行った。
- ・2、3月研修：補助学生として活動するにあたり、単位取得方法や新入生との接し方のロールプレイを実施。
- ・出会いの広場(4月7日～11日)：初日は学内、2日目以降は静岡県伊東市にて1泊2日で開催。
- ・昨年度の反省を踏まえた研修の成果として、実施期間中にルールを破る学生を減らすことができた。一方、2月研修2日目のロールプレイを欠席する補助学生の散見や気持ちの高まりによりルールを破る新入生や補助学生がいたことが問題点として挙げられる。補助学生の面接制度や事前研修の見直しを行い対策したい。

新聞委員会

- ・春勧誘：加入者0。現局員全員が4年生のため合併を検討。
- ・合併：広報局との合併にあたり、現状確認とスケジュールのすり合わせ、懸賞小説企画の内容について協議した。コロナ禍による引継ぎ不足でサイト運営に不備が生じていることから、合併後は学友会報誌のみの活動を検討中。
- ・懸賞小説企画(7月)：資料には学生審査との記載があるが、今年は教授方に審査を依頼。質の低下や偏った評価の回避が目的。
- ・来年度以降の体制は未定だが、円滑な活動ができるよう努めたい。

県人会連合会

- ・リーダーズキャンプ、県人祭準備(3月)：後輩中心で準備を行った。時間外も学校に集まるなどし、学年の垣根を越えて団結することができた。
- ・県人祭(5月)：反省点がありながらも、大きな問題なく成功できた。
- ・前期行事(6月)：県人祭終了後1か月間で、各グループが準備に精力的に取り組めた。参加者は多くなかったものの、楽しんでもいただくことができた。
- ・情報の宣伝不足により学食フェアや県人祭前夜祭で集客ができなかったため改善したい。
- ・県人祭準備期間に他団体間とトラブルが発生してしまい出演がキャンセルとなった経緯があるため、今後は報告を含め情報共有を徹底したい。

学術文化連合会

- ・リーダーズキャンプ(3月11～13日)：主務と副主務のもと、団体指針や各団体がさらに輝くための方法を検討する重要度の高い行事となった。
- ・新入生歓迎会(4月21日、30日)：新入生を焦点に、学術文化連合会の認知度向上及び会員数増加を期待し実施した。多くの新入生が参加し、大盛況となった。
- ・小委員会説明会(4月23日)：今年度の活動に不可欠な小委員会のメンバーを募ることができた。
- ・新入生オリエンテーション(6月1日)：学術文化連合会団体所属の新入生同士の交流を図ることができた。
- ・文連祭(6月16～6月21日)：各団体のパフォーマンスや芸人ライブを実施。各夜祭以外では学食フェアの実施があったが最中に学術文化連合会のGoogleアカウントが消えてしまうというトラブルが発生したため、本件については改善を進めている。

学友会体育祭本部

- ・リーダーズ研修会(2月18日)：体育会諸団体の主務と財務担当者を集め、書類提出や財務の帳簿のつけ方等の研修を実施。
- ・フレッシュマン研修会(6月29日)：体育会に所属する新入生同士が部活動の垣根を越えて交流を深めることを目的とし実施。交流を深めることができた。
- ・学生スポーツの発展とよりよい環境づくりに努めたい。

〈質疑応答〉

永綱学長：p3の大学主催の説明会に関して、改善してほしい点3つは抜粋したものなのか、出た意見が3つなのか詳細を知りたい。

川島中央執行委員長：自由記述で募った意見の中で、ガイダンス関連の改善点を求める意見が3つあったため全て記載した。

永綱学長：105分授業についての所感を知りたい。

大塚議長：長く感じる部分はあるが、長期旅行ができるなどメリットのほうが大きいと感じる。ただ、他大学との交流を考えると放課の時間や休暇が合わないのをデメリットと捉える学生もいるのではないか。

川島中央執行委員長：105分授業が長いと提起した学生3人は全員が1年生であり、まだ授業時間に慣れていない可能性がある。2～4年生を見ると講義の長さについての意見はなく、長期休暇を有効活用していることが考察できる。

永綱学長：卒業アルバムの購入は任意か。販売部数は。

二本柳学外副委員長：個人撮影数170、購入数160ほど。購入数は年々減少している。出版社とも現状のままでは年々赤字が生まれてしまうとの話が出ている。

永綱学長：購入数が減る→値段が高くなる→購入を避けるという負のスパイラルが起きているのではないかと感じた。電子機器で写真を撮る人が多いことも踏まえ、卒業アルバムの在り方に関して見直しを行ってもいいのではないか。

今後の活動について

【学友会の目的】

- ・ 学生自治
- ・ 建学精神や建学理念の達成
- ・ 楽しい大学生活を送るため、学生自身で考え、学生の手で実現する

【問題点】学友会の認識率、学友会意識の低下

- ・ 学友会行事(4大祭や学生総会)参加者の減少
- ・ 学友会制度の利用者、認知度が低い

→学友会費の還元対象が一部の学生に限定されており、学友間での隔たりや意見減少による推進力の低下が起こっている。

【今後の対策】

- ・学校教職員、施設との連携：学内施設(学食や図書館)で企画や助成を行ったり、学部やゼミ単位から学友会行事への参加を促進したりする。
- ・より有意義な学友会活動への促進：学生総会や目安箱の意見の反映により、学生が大学を創っているという認知向上、活発化を目指す。
- ・情報宣伝活動への注力：団体活動がすべての学友にまんべんなくいきわたるよう工夫を行うと同時に、HP の充実化もはかっていきたい。

〈質疑応答〉

関谷専務理事：参加者のほとんどは3～4年生だと思う。短い学校生活の中でも精力的に活動に取り組む姿勢が見受けられてよかった。改革を行う中でジレンマに陥ることもあったと思う。苦労したこともあると思うが、亜細亜大学で学んだことを卒業後も社会で生かしてほしいし、教職員も全力でサポートしたい。

連絡事項

寺尾学生部長：学友会費関連での共有事項。とある団体で部費の私的流用が発覚した。該当部員(印鑑や通帳を所有)が諸事情により学校に来ていないこともあり、顧問とのコンタクトもあったが時間を要したが全額返還済。